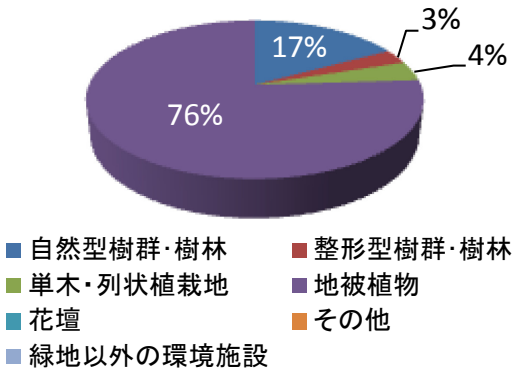
株式会社東北三之橋　丸森工場

工場所在地	〒981-2112 宮城県伊具郡丸森町字寺内前 51-1 電話 0224(72)2760
主たる業種名	金属製品製造業
主要製品名	自動車用特殊ボルト・ねじ付き部品、 冷間鍛造部品・精密機械加工部品
ホームページ	http://www.sannohashi.co.jp

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 19,108m²＞





緑化等の概要

・当工場は、昭和 57 年操業開始より「美しい工場にしよう」を社の方針に掲げ、周辺の自然環境との調和を目指した、美しい緑ある工場敷地整備をすすめている。

・総務課内に環境整備係 2 名を配し、敷地内の草刈りやゴミ拾い等の環境整備にあたっているほか、特に管理に技術を要する剪定や施肥などの樹木の管理については、地元丸森町の造園会社に管理を委託し、一年を通して美観を維持するよう努めている。

・ソメイヨシノ、ヤエザクラ、ツツジ、ヒバなどの庭木のほか、食用にできるカキノキやタラノキなど、多種多様な植栽を行っている。

・当工場に隣接する国道 113 号のゴミ拾いや草刈りを積極的に行っている。

・平成 15 年からは環境省エコアクション 21 により実施計画を定め、生産活動における省エネルギーや CO_2 削減はもちろんのこと、敷地内緑化の推進をうたい、継続的な取り組みを行っている。

・工場増設の際にも緑地面積の確保に努め、操業開始当初よりも敷地面積に対する緑地の割合が 5%増加するなど、周辺環境に配慮した敷地整備を行っている。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞

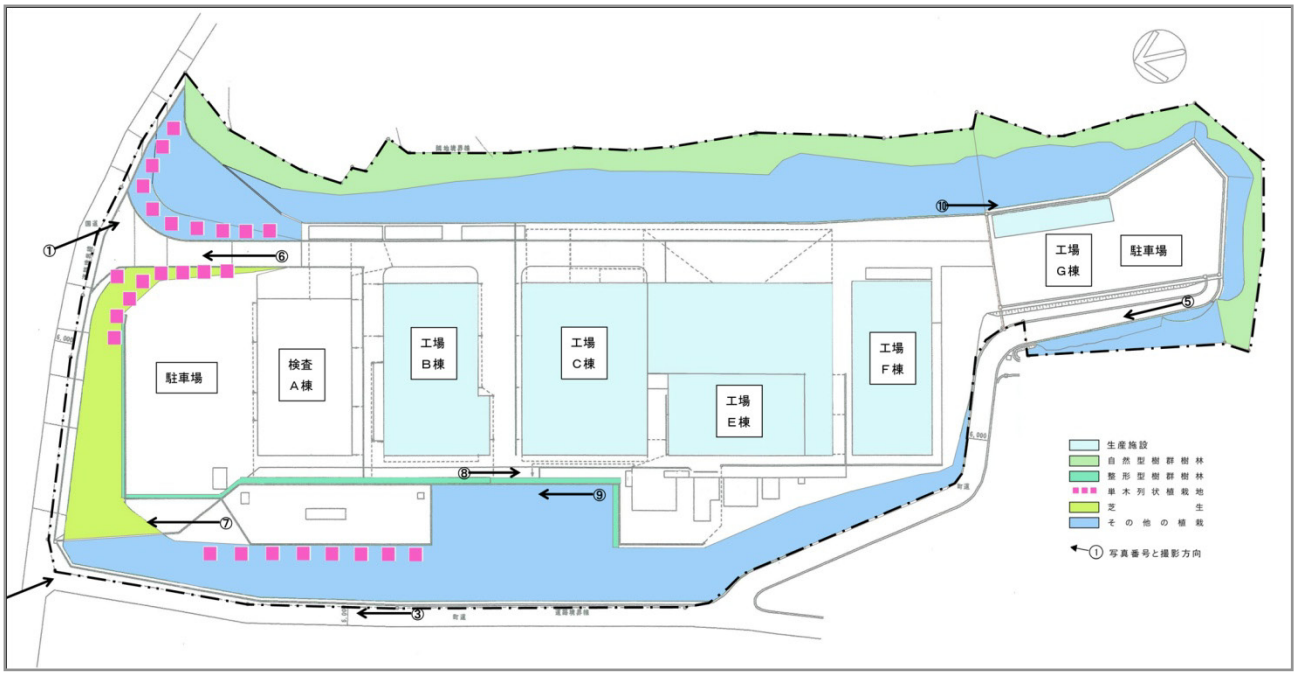


環境整備



庭木の管理（サクラとツツジ）

敷地平面図

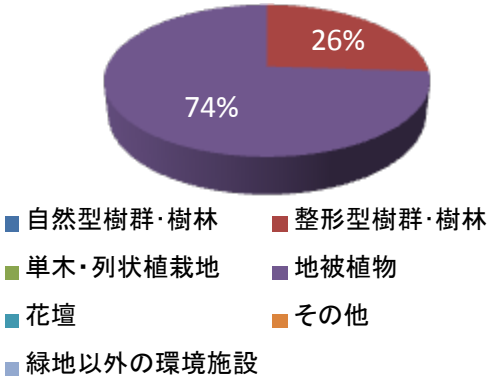


トヨタ自動車東日本株式会社　本社・宮城大衡工場

工場所在地	〒981-3609 宮城県黒川郡大衡村中央平１ 電話 022(765)6312
主たる業種名	輸送用機械器具製造業
主要製品名	自動車
ホームページ	http://www.toyota-ej.co.jp/index_top.html

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 115,943㎡＞





工場緑化のキャッチフレーズ

万葉の森再生による地域(大衡)に密着した工場づくり

緑化等の概要

・当工場が立地する第二仙台北部中核工業団地造成により喪失した緑豊かな大衡村の山々の自然と、奥州街道の古道や日本橋から百番目に当たる大衡一里塚などの歴史を尊重する思いから、これらの環境の復元を目指した。

・敷地北側の法面に地域の木々を植栽し、奥州街道をイメージしたウッドチップの小路を設けた。外周部にはフェンスを設けず、地域の方が自由に立ち入れるようにした。また、ベンチを設置し、ジョギングや散策を楽しむことができるように配慮した。

・2013 年には、工場に隣接するトヨタ東日本学園敷地内に大衡一里塚の復元と雑木林の成立を目指した「結の森」をつくり、6 月に大衡村の子どもたちを招いて植樹会を行った。植えた木々を子どもたちの成長と共に見守ることができるように、「結の森」も外部に開放している（写真：力を入れている取り組み）。

・植栽樹木は在来種にこだわっており、大衡村の協力を得て、村の「昭和万葉の森」で採集したどんぐりから自分たちで育てた苗木を 2014 年には工場敷地に植樹していくよう計画している。

・小学生を対象にした工場見学を開催しており、2012 年度はおよそ 1 万 5 千人の子どもたちが参加した。工場での生産を見て、聞いて、触れて体感できるよう工夫している。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞



結の森（造成後）



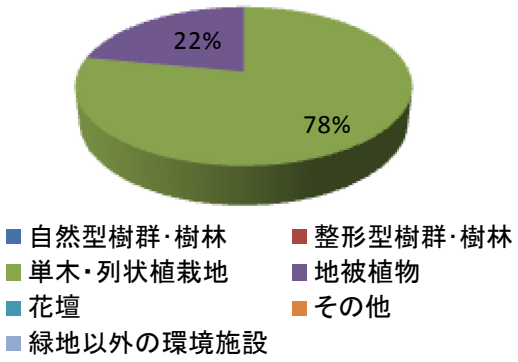
植樹会親子

日本工営株式会社　電力事業本部　福島事業所

工場所在地	〒962-8508 福島県須賀川市森宿字道久 1-22 電話 0248(72)5121
主たる業種名	電気機械器具製造業
主要製品名	水車、発電機、変電制御装置
ホームページ	http://www.n-koei.co.jp/

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 27,369㎡＞





工場緑化のキャッチフレーズ

地域密着型の工場緑化の推進

緑化等の概要

・当事業所は緑に囲まれた地域に根ざした立地環境の創出をコンセプトに工場緑化に取り組んでおり、高木（413本）、中木（2,827本）、低木（8,219本）の植栽を行うほか6,000㎡の芝生を維持管理し、季節ごとの景観に配慮した緑化を継続的に行っている。

・「地域密着型の工場緑化の推進」というキャッチフレーズにも掲げているとおり、この環境を活かし、毎年8月に行われる須賀川市釈迦堂川全国花火大会においては、6,000㎡の芝生エリアを近隣住民の花火観賞会場として提供して、地域と積極的に交流を図っている。また、地域の子どもの健全な育成に貢献することを目的として、少年サッカーチームの練習場として一般開放している。

・「地球にやさしい持続可能な循環型社会の実現」に貢献することを責務として、事業所を挙げて緑化、環境負荷削減活動に取り組むとともに、地域と一体となった環境保全活動などに取り組み、社会貢献活動を積極的に展開している。

＜緑地のようす＞



<力を入れている取り組み>



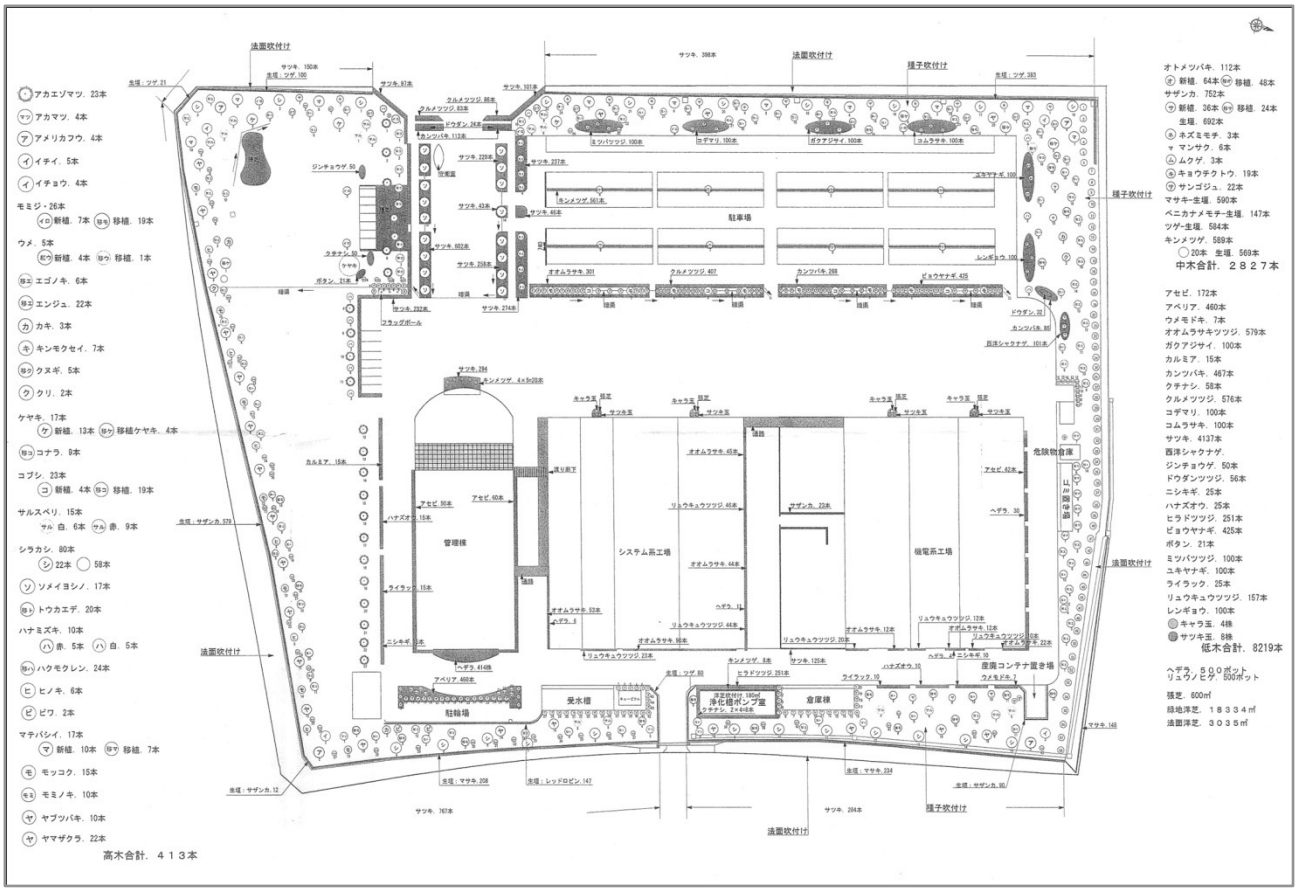
少年サッカーチームの練習





花火鑑賞会

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

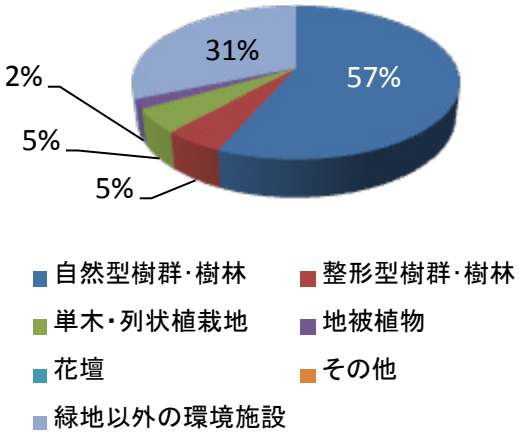
工場の緑化活動については、立地条件、周辺環境など数々の制約があり、色々ご苦労が多いかと思います。

地域社会とのコミュニケーションを深め、地域と一体になった活動を推進することにより地域に溶け込んだ工場緑化が継続的に図られると思います。

株式会社チノー　藤岡事業所

工場所在地　〒375-8505
群馬県藤岡市森 1
電話 0274(42)2111
主たる業種名　電気機械器具製造業
主要製品名　計測制御機器
ホームページ　http://www.chino.co.jp

緑地等の種別面積割合
＜緑地等の総面積 22,404㎡＞





緑化等の概要

・当社では、「チノー環境方針」を制定し、本方針にもとづく「環境マネジメントシステム」を構築し、計画的かつ継続的に、全社を挙げて環境保全活動に取り組んでいる。

・平成 23 年、当事業所隣接保有地に約 10,000 ㎡もの「チノー　ビオトープ　フォレスト」を整備した。本ビオトープは、「昔ながらの自然豊かな関東平野の里山風景の復元」をテーマとして在来種を植栽、広大な緑地において希少種の保全活動を行っている。植栽にあたっては、高崎観音山丘陵で伐採処分が予定されていた在来の樹木や下草、土壌を移植し、再配置を行った。

・ビオトープの育成管理にあたっては、当社主力製品である各種計測機器を活用し、ビオトープ内の気温、地温、水温などを常時モニタリングし、この結果をもとに育成管理方針を決定している。また、地元の群馬大学の環境科学研究室とも連携しており、同大学学生の研究活動フィールドとしても提供している。研究結果については、社内で開催する調査研究発表会で学生が発表し、ビオトープの遷移解析等に役立てている。

・本ビオトープを地元小学生等の環境学習の場として開放したり、藤岡市の天然記念物であるヤリタナゴの絶滅回避に向けた取り組みに協力するためヤリタナゴを放流するなど、地域とともに環境保全に取り組んでいる。

・他にも、敷地内野球場やテニスコート等を地元小学生に開放したり工場敷地外の清掃活動を定期的に実施するなどの取り組みを行っている。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞

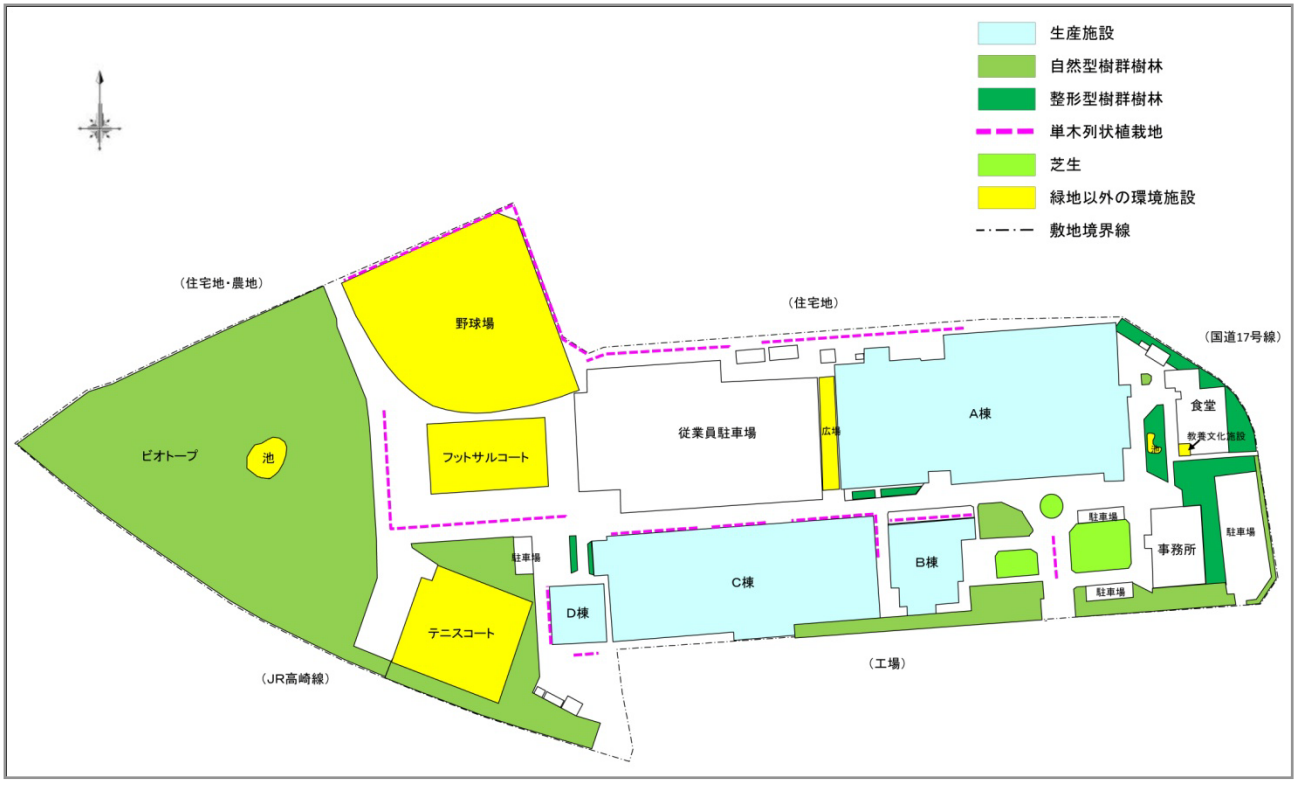


コナラの伐採木等を活用し、近隣の小学生によるシイタケのコマ打ちやシイタケの収穫体験を行っている。



藤岡市の天然記念物であるヤリタナゴの絶滅回避に向けた取り組みに協力し、藤岡市と覚書を締結して敷地内のビオトープにヤリタナゴを放流した。放流に際して放流式典を開催し、藤岡市長・教育長をはじめ弊社苅谷社長や小野小学校の児童も参加した。

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

工場緑化を推進するにはチャンスを自ら生み出す必要があります。チノー藤岡事業所は、事業所に隣接する土地を取得した際、その一部を活用し、ビオトープ(名称：チノービオトープフォレスト)の建設に着手いたしました。折りしも名古屋市で生物多様性条約国会議(COP10)の開催時期と重なり、機運が盛り上がった時期でもあり追い風もありました。幸運にも産学連携によるモニタリング調査が実現し、学生による卒業論文のテーマとしての活用や藤岡市が天然記念物に指定しているヤリタナゴの絶滅回避に向けた保護地としての活用等によりビオトープの必要性が増しております。

また、ビオトープは子どもを育てるのと同じで、人が上手く手を差し伸べて育てていくものです。チノーでは『育成管理』と称し、かつてこの地域に存在した関東平野の里地里山環境の再生を目指す“順応的”な管理を行っております。これは子どもを育てるような長い道のりではありますが、育てる楽しみを管理者が持っている管理方法です。

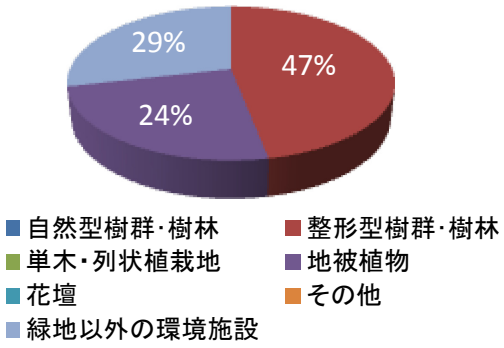
企業緑地へのニーズが変化する中、『維持管理から育成管理へ』緑地管理に新たな発想を持って取り組んで行きましょう。

赤城乳業株式会社　本庄千本さくら『5S』工場

工場所在地	〒362-0212 埼玉県本庄市児玉町児玉字下川原 850-10 外 51 筆 電話 0495(71)0003
主たる業種名	食料品製造業
主要製品名	氷菓及びアイスクリーム類
ホームページ	http://www.akagi.com/

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 18,848㎡＞





工場緑化のキャッチフレーズ

和と洋の融合でみせる工場(緑化)

緑化等の概要

・工場のコンセプトとして、「従業員にやさしい工場」「環境にやさしい工場」「周辺地域にも優しい工場」を掲げ、日々の活動をしている。

・5S（整理・整頓・清掃・清潔・躾）工場として、「6 つの活動精神」を掲げ、樹木管理・緑化推進を全従業員が自主的に取り組んでいる。

・地域のランドマークとなるような、特徴的な樹木（カナリーヤシ）を配置。主力商品でもある、ガリガリ君の元気なイメージを南国のヤシの木で表現している。

・小山川沿いの「こだま千本桜」という桜の名所に隣接していることから、千本桜の植え替えや敷地内への新たなサクラの植栽等を行っている。

・樹木に使用する各薬剤（除草剤、殺菌剤、殺虫剤など）は全て無害なものを使用し、食品工場としての安全性と、周辺地域に対する配慮を行っている。

・緑地の一部を一般解放しているほか、地元のレクリエーションへの参加や地元小学校の社会科見学の受け入れなど、地域との交流を大切にし、積極的に関わっている。

・廃棄物の 100%リサイクル化を継続して実施している。また、廃熱による温水再利用や、一部ソーラーパネルでの発電も行っている。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞



毎朝のあいさつ運動

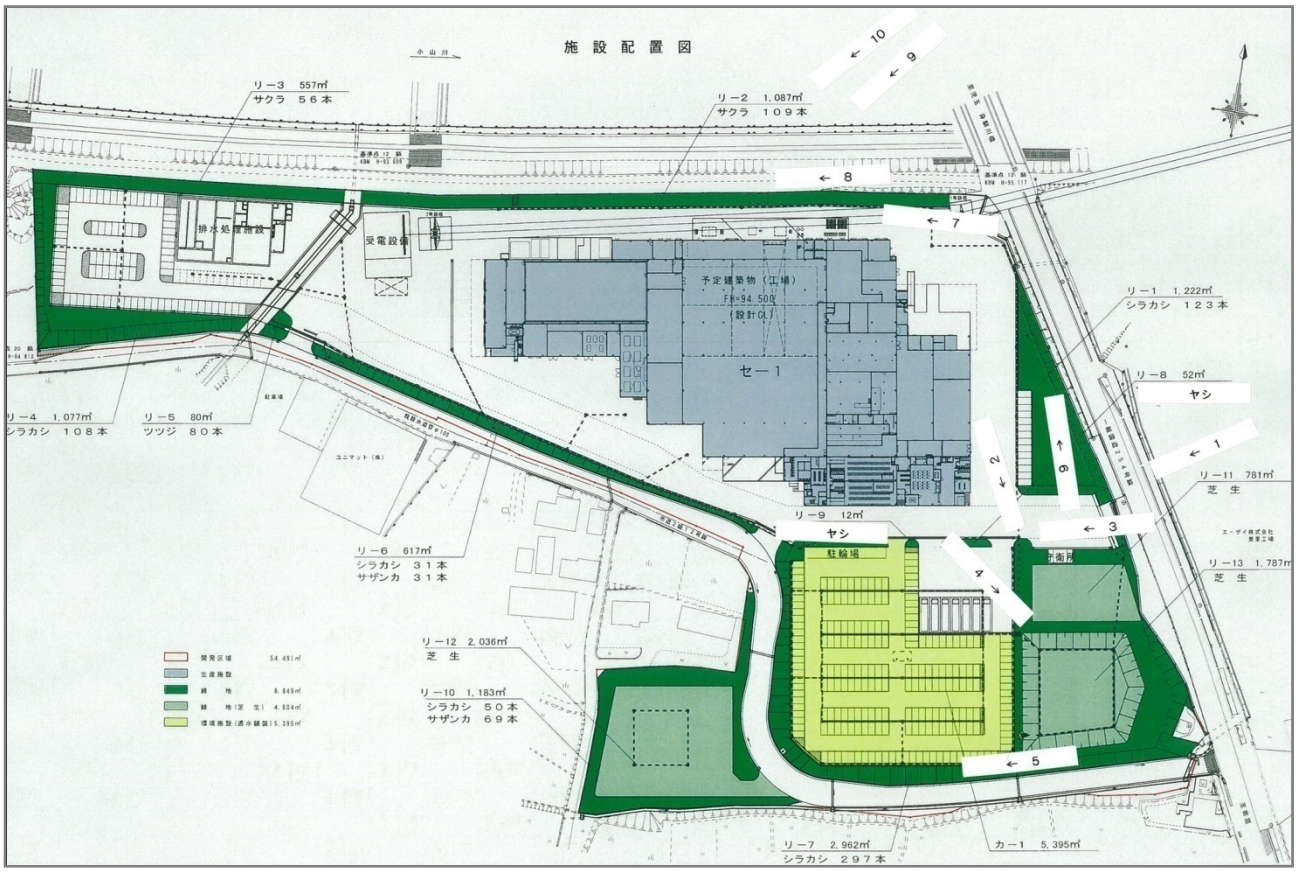
毎日担当者が玄関に立ち、出勤する従業員との挨拶運動を行っています。５Ｓの基本である挨拶をまずはしっかりと交わしてから、１日をスタートします。
５Ｓの基本を身に付けることで、モラルやマナーのある従業員の育成を目指しています。



毎朝の清掃活動

誰に指示されたわけではなく、自主的に早く出勤し、清掃活動をしています。あいさつ運動をはじめとした、５Ｓ活動の一つの成果ではないかと思います。
朝の挨拶の前に、清掃活動を行っています。

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

当工場は、工場緑化と同時に、省エネ活動を始めとしてあらゆる環境問題に関しての活動も積極的に行っております。

「従業員に優しい」「環境に優しい」「周辺地域にも優しい」工場を目指すと同時に、工場コンセプトでもある　「見せる、観せる、魅せる」工場を目指し、日本一の「おもてなし」のできる工場を目指して活動をしております。

緑化活動も特定の担当者・担当部署を敢えて設定せず、『５Ｓ』工場として全従業員の自主的な活動を基本として進めております。

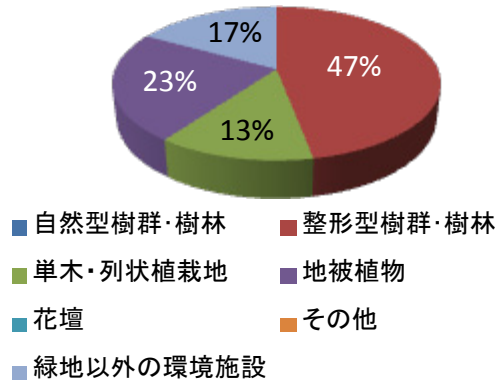
ぜひ全国の工場緑化担当者様と情報交換させて頂き、共に緑化の推進を進めて行きましょう!!

八海醸造株式会社

工場所在地	〒949-7112 新潟県南魚沼市長森字深沢原 335-2(外 35 筆) 電話 025(775)3121
主たる業種名	飲料・たばこ・飼料製造業
主要製品名	清酒　八海山
ホームページ	http://www.hakkaisan.co.jp/

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 16,310㎡＞





緑化等の概要

・当工場は山際に位置し、山林及び田畑に囲まれていることから、景色に溶け込む建造物の外観デザインや緑地に里山をイメージした樹種を植栽するなど、周辺環境と調和のとれた緑化を推進している。

・生産量の８割を占める第二浩和蔵周辺に「魚沼の里」を整備し、維持管理、施設の増設を行っている。魚沼の四季折々の自然や風土を感じてもらえるような施設を目指し、地域の憩いの場として無償で開放しており、観光客や地域住民の散策や休憩の場となっている。
現在は敷地を拡張し、工場増設と並行してフラワーガーデン等を整備中であり、「里山の自然とくつろぎ」をデザインコンセプトに掲げ、さらに多くの方々の利用を目指している。

・今後、構内緑地の維持管理において生じた発生材については、堆肥化して緑地維持管理に再利用する予定である。

・商業施設としての飲食や買い物だけでなく、これらの緑地を目的として来訪してもらえるような施設を目指している。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞

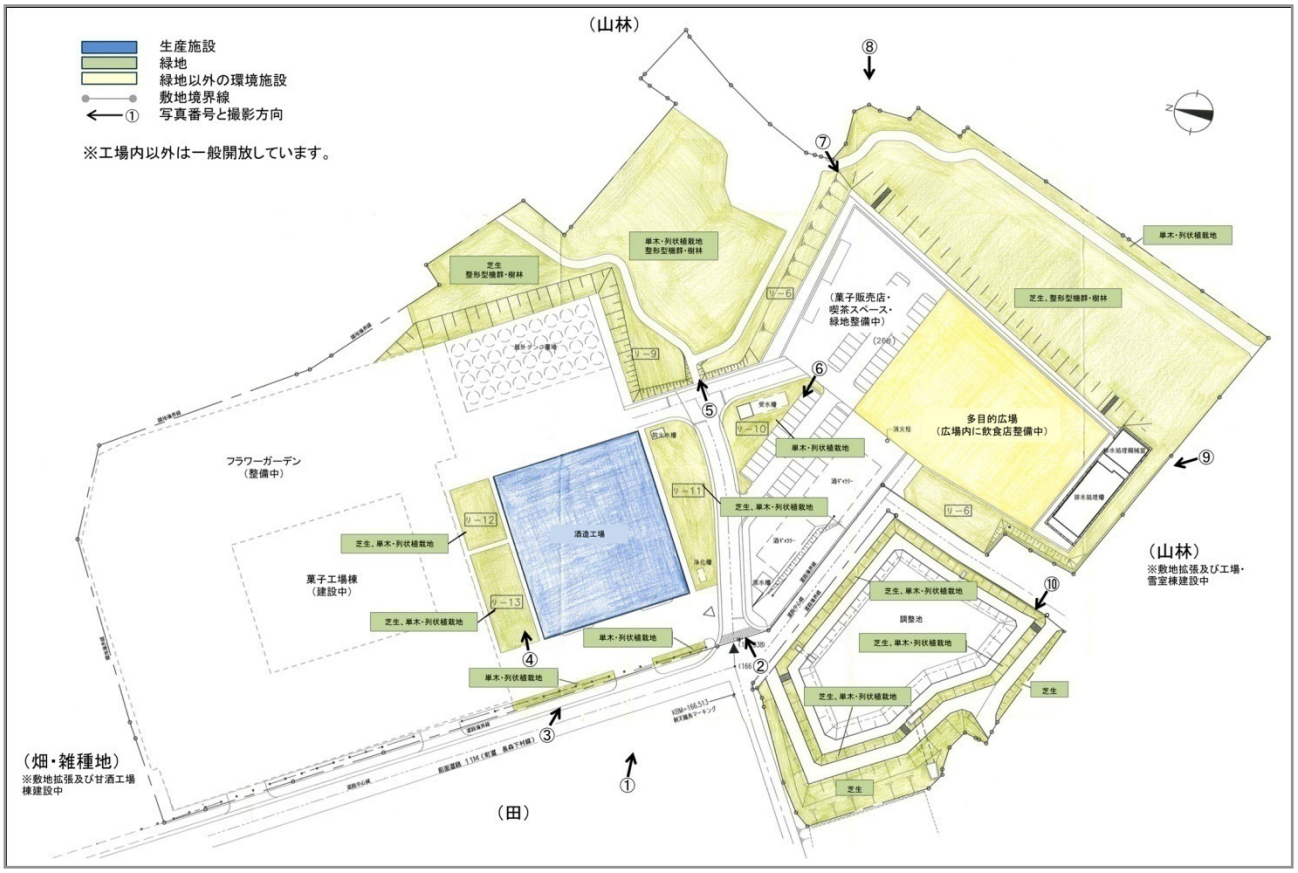


「魚沼の里」の散策路



散策路からの眺め

敷地平面図

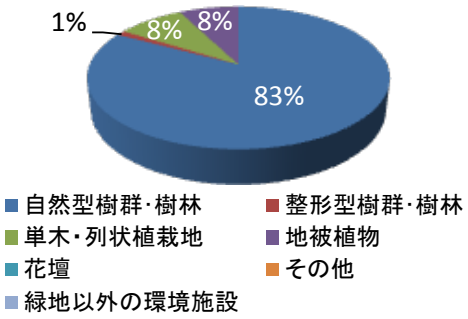


トリンプ･インターナショナル・ジャパン株式会社　トリンプ静岡センター

工場所在地	〒437-1432 静岡県掛川市上土方工業団地 29-5 電話 0537(74)5221
主たる業種名	下着製造業
主要製品名	
ホームページ	http://www.triumph.com/jp/ja/cw_welcome.html

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 14,522㎡＞





工場緑化のキャッチフレーズ

森の中の工場

緑化等の概要

・開業から 2 年後の 1997 年より、「森の中の工場」をコンセプトに、専門家の指導のもと、混植・密植型植樹による植樹計画を開始。工場敷地外周部に、土地本来の潜在自然植生構成種であるタブノキ、アラカシ、スダジイ、クロガネモチなどの苗木を、近隣住民を含む延べ約 1,500 名により、3 年間で 20,140 本植栽した。16 年後の現在、4～5m ほどに成長している。

・2008 年の ISO14001 取得時より、従業員の環境意識向上を目的として様々な環境活動に取り組んでいる。活動は主に休日に行っており、活動回数は 25 回、参加者数は延べ約 500 名。
○ 掛川市主催の清掃活動、植樹活動への参加
○ トリンプ静岡センター周辺の清掃活動
○ 地域の小学生も参加する米づくり

・掛川市主催の清掃活動「クリーンウォーク」や植樹活動「いのちを守る『希望の森づくり』プロジェクト」へ積極的に参加。地域の方々と一緒に行うことで交流を深めている。

・「掛川市環境基金」に協賛し、2008 年に環境団体「掛川市エコ・ネットワーキング」と「古紙提供による協定」を締結。古紙を売却し積み立てた基金で、地元幼稚園に太陽光発電設備を設置した。

・通常の業務においては社員から提案を募り、良い提案には表彰する制度を実施するなど、社員の意識改革を図っている。水・電気の使用量削減（未使用エリアの電気を消灯）や、ゴミの減少に取り組んでいる。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞

掛川市主催の植樹活動や清掃活動などに参加するとともに、近隣で育成されている減農薬・減化学肥料の環境指向の地元ブランド米つくりに多くの従業員が参加している。これらの活動を通じ、自然との触れ合いで更なる環境意識の醸成と地域交流を図っている。



植樹活動



地元ブランド米づくり

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

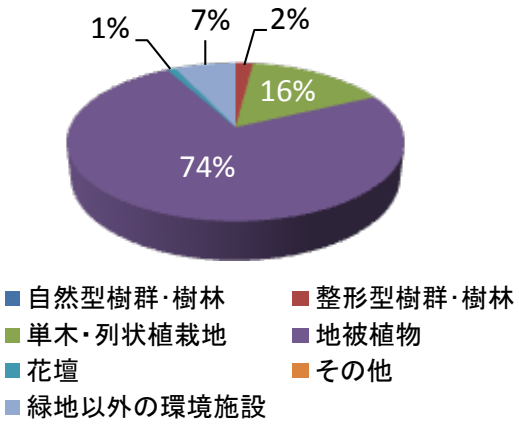
当センターは地域社会とのコミュニケーションを大切に考えています。
センターを囲む木々は近隣住民の方々と一緒に植えたものです。
これまで地域の様々な環境活動に積極的に参加してきました。
これらが従業員の環境意識向上に繋がっていると考えています。

岐阜協和株式会社

工場所在地	〒509-5312 岐阜県土岐市鶴里町柿野 2322-58 電話 0572(52)3308
主たる業種名	輸送用機械器具製造業
主要製品名	ロッカーモール、Vバンクカバー
ホームページ	http://www.kojima-tns.co.jp/gifukyowa/

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 4,379㎡＞





緑化等の概要

・当工場は、工場緑化をエコアクション 21 に位置付けており、毎年 6 月、10 月を緑化活動月間として定め、地域のゴミ拾い（2 回／月）、除草作業、木の剪定（2 回／年）を行なっている。

・春には工場外周の 20 本のサクラの花、秋にはモミジの紅葉、さらに花壇の花やフェンスに飾った花鉢等、地域住民の方に楽しんでいただけるように配置している。

・土岐市から工場外周の山林使用許可を取得し、遊歩道を整備して地域住民に開放している。社員も健康管理のためにウオーキング等に利用している。遊歩道は高齢者が容易に歩行出来るように勾配をゆるく設定し、随所に間伐材で製作した階段を設置するなど、バリアフリーだけでなく、資源の再利用にも配慮している（写真：力を入れている取り組み）。

・地元の鶴里小学校の生徒に 20 個の鳥の巣箱を製作してもらい、遊歩道沿いの樹木に設置するなど、地元の小学校とも連携して緑化活動を行っている。

・毎年、春～夏にかけてはフキを、秋には、山栗、山芋、間伐材で栽培したシイタケやシメジを収穫し、社員だけでなく地域住民の方にも提供している。

・地元で灌漑用水に利用している近隣の池の水を浄化するため、ゴムボートでのゴミの回収作業や、ホテイアオイ、スイレン、コイの飼育による水の浄化活動を行なったり、桟橋を設けて地元の方が池のコイを観察できるようにするなど、地域に貢献できるよう努力している（写真：力を入れている取り組み）。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞

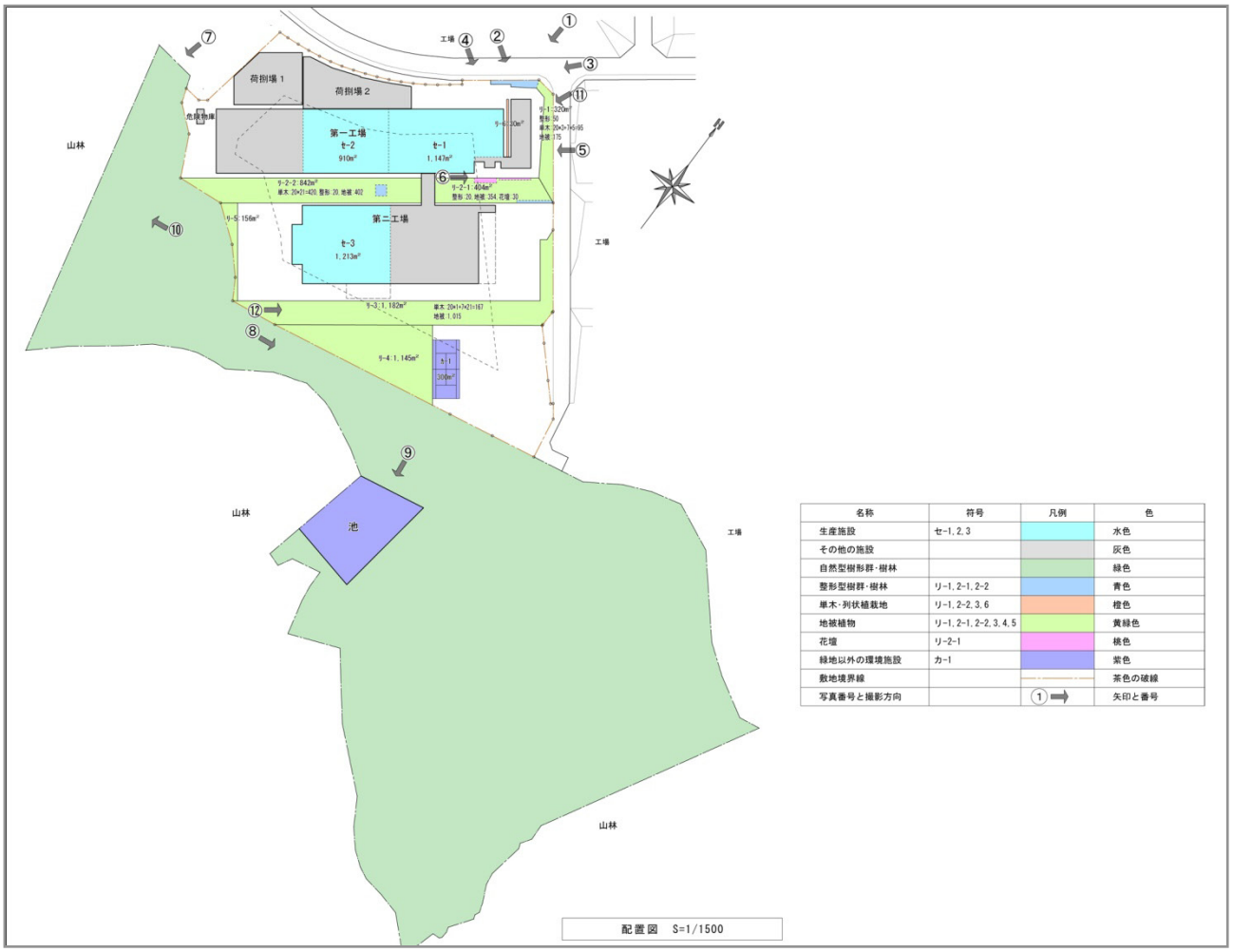


全社員が協力して「里山づくり」を行う



間伐材を利用して桟橋を作る

敷地平面図

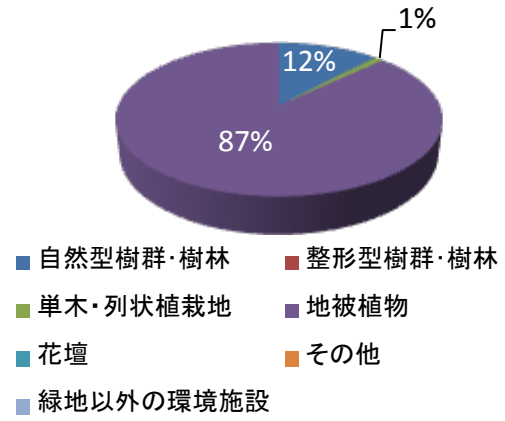


名称	符号	凡例	色
生産施設	セ-1, 2, 3		水色
その他の施設			灰色
自然型樹形群・樹林			緑色
整形型樹群・樹林	リ-1, 2-1, 2-2		青色
単木・列状植栽地	リ-1, 2-2, 3, 6		橙色
地被植物	リ-1, 2-1, 2-2, 3, 4, 5		黄緑色
花壇	リ-2-1		桃色
緑地以外の環境施設	カ-1		紫色
敷地境界線			茶色の破線
写真番号と撮影方向		①	矢印と番号

豊田合成株式会社　尾西工場

工場所在地　〒494-8502
愛知県一宮市明地字東下城 40
電話 0586(69)8845
主たる業種名　自動車部品製造業
主要製品名　ハンドル、エアバッグ
ホームページ　http://www.toyoda-gosei.co.jp/

緑地等の種別面積割合
＜緑地等の総面積 24,190㎡＞





工場緑化のキャッチフレーズ

育てよう命の森　はぐくもう夢　未来の尾西に向けて！

緑化等の概要

・当工場は「緑に囲まれた工場の森づくり」を目指し、3 つのねらいを決めて「工場の森づくり」活動を推進している。
①工場緑化の推進（生態系の保全と地球温暖化対策に貢献）
②社員の環境意識（エコマインド）の向上
③地域の人々と一緒に取り組むことによる地域社会との融合

・「eco 検定アワード 2011（主催：東京商工会議所）」エコユニット部門において当工場エコユニット「みどりな人たち」の活動が評価され、「優秀賞」を受賞した。

・2010 年に地域住民や市関係者および地域小学生、従業員とその家族など、約 2,000 名のボランティアの参加により、工場外周に 15,000 本の苗木の植樹を実施した。

・この活動を地域の方々と共に継続していくために、10 年後の「緑に囲まれた工場の森づくり」を想定し、毎年 11 月第 2 日曜日を「みどりの日」と制定し、活動を継続している。

・一宮市が主催する一宮市総合防災訓練へ、当工場の自衛消防隊が毎年参加している。

・自ら快適な環境づくりをすることにより、地域環境に貢献し、工場に対する地域住民の親近感・安心感を高めて、地域社会と産業活動の融和を図っている。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞

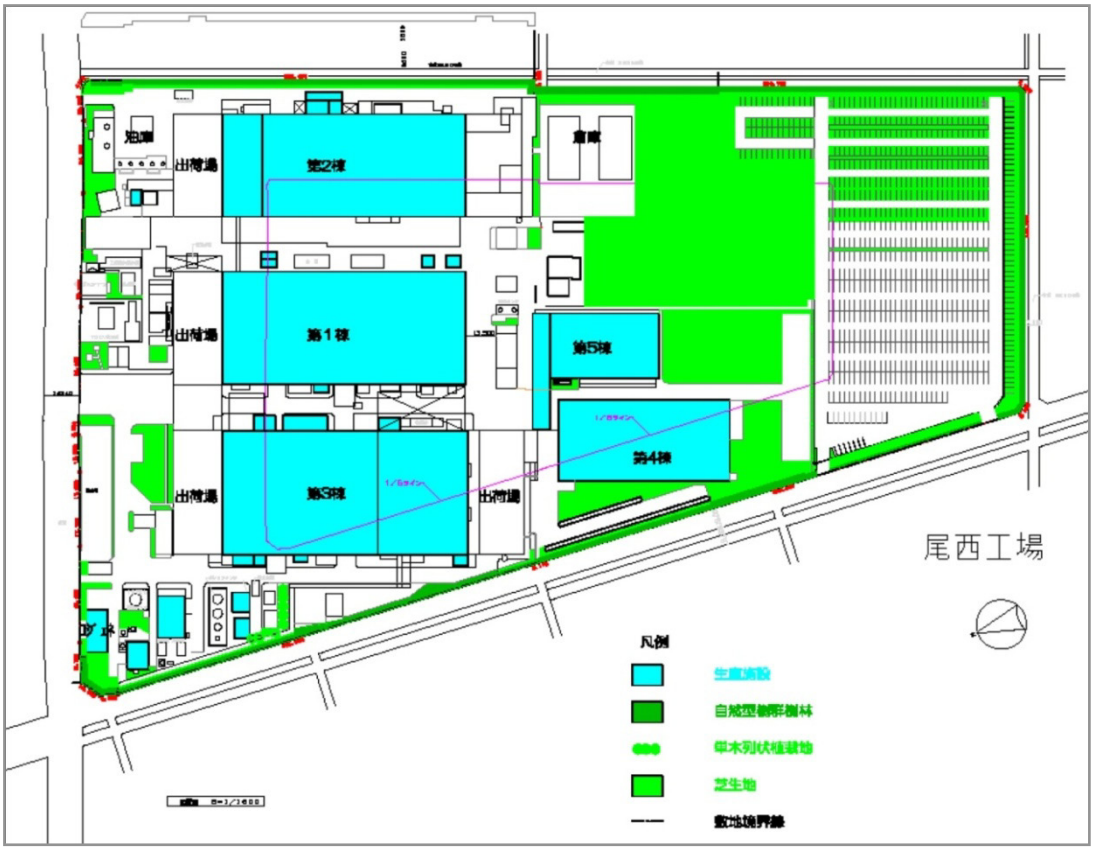


従業員でどんぐりを採取し、他工場の植樹に活用します



「いのちを守る防波堤」プロジェクトに参加。東北のどんぐりを植えて苗木を育て、東北にお返しします

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

当工場では毎年１１月第２日曜日を『みどりの日』称し工場の森づくりを従業員とその家族、又地域住民とのコミニュケーションを深める一環として緑化活動を行っております。

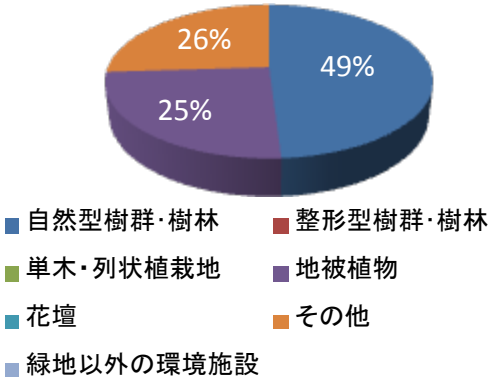
どんぐり採取から苗木を育て植樹する方法も取り入れ従業員、地域住民からも自分たちが育てた苗木が成長するさまを毎年楽しみにしている声もあり地道な活動ですが、やりがいはありますので緑化担当者の皆様も一緒にがんばりましょう。

株式会社紫野和久傳　京丹後久美浜工房

工場所在地	〒629-3559 京都府京丹後市久美浜町谷 276-114 電話 0772(84)9068
主たる業種名	食料品製造業
主要製品名	和菓子、ちりめん山椒等
ホームページ	http://www.wakuden.jp

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 17,000㎡＞





工場緑化のキャッチフレーズ

ふるさとの森

緑化等の概要

・一万坪近くある敷地を活かし、「森の中の食品工房」として周辺環境、生態系に配慮し、総合的な緑化計画に基づいた工場緑化を推進している。

・専門家の指導のもと、地元丹後の植生に合った樹種を、地元の苗木を利用して植栽するという緑化計画に基づき「和久傳の森」づくりを行った（写真：力を入れている取り組み）。

・平成 19 年 5 月に植樹祭を開催、地元住民を中心に 1,600 名が参加し、タブやカシなど 56 種類 2 万本の苗木を植栽した。平成 24 年には「和久傳の森　植樹 5 周年祭」を開催。地元住民を中心に 1,000 名が参加した。

・現在、クワやクルミ、ヤマザクラなど、大きいものは樹高が 5m を超え、山椒・柿・柚・桑・イチジク・ミョウガ・ワラビなど森の恵みが育つ「生産の森」として成長している。

・「和久傳の森」は一般に開放しており、今後はさらに「癒しの森」「交流の森」「文化の森」「生産の森」とし て、来場者や地域の方に利用され、親しまれる森づくりを目指し、より一層の努力を行っている。

・生産施設屋根に設置した雨水集水装置により雨水を貯蔵し、植物の散水等に使用したり、冬期は米蔵の冷蔵庫の電力を使わず、雪で保冷するなど、省エネルギー化を図っている。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞

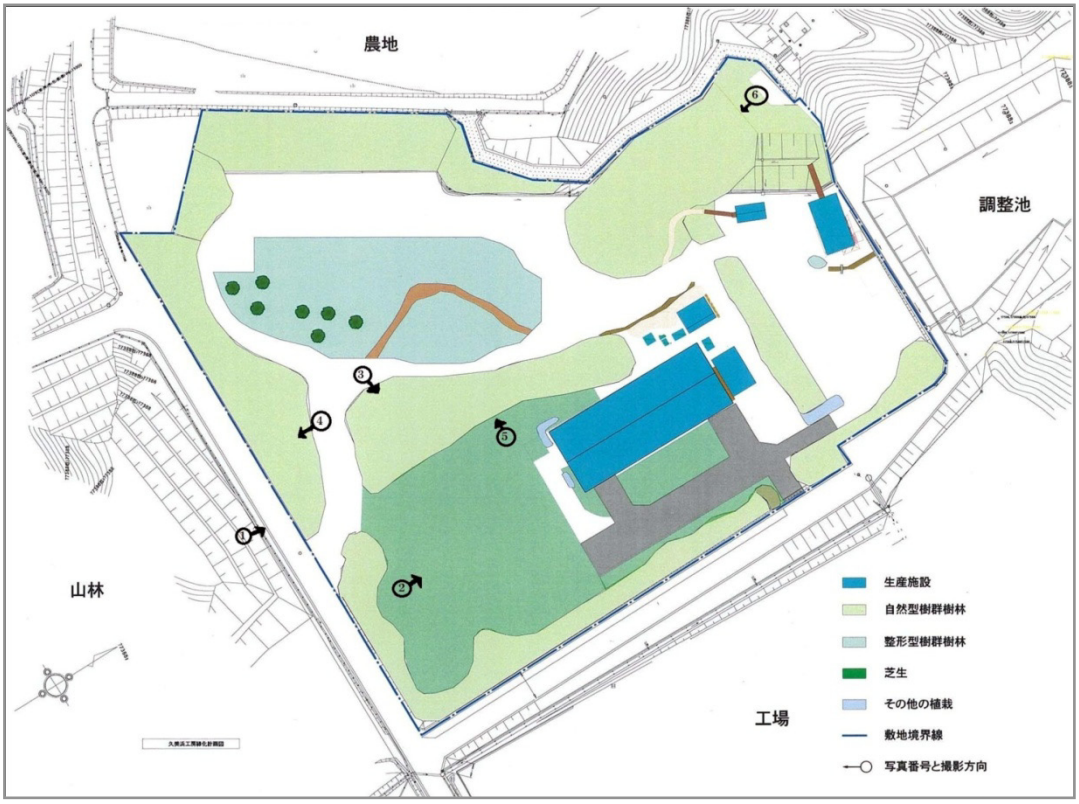


「和久傳の森」づくり



「和久傳の森」2007 年植樹のようす

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

当社の「京丹後久美浜工房」は「森と緑のある工房」を目指してまいりました。

今、大きく成長した「和久傳の森」は、「ふるさとの森」として地域の皆様にも親しまれ子ども達の将来のために、さらに進化させていきます。

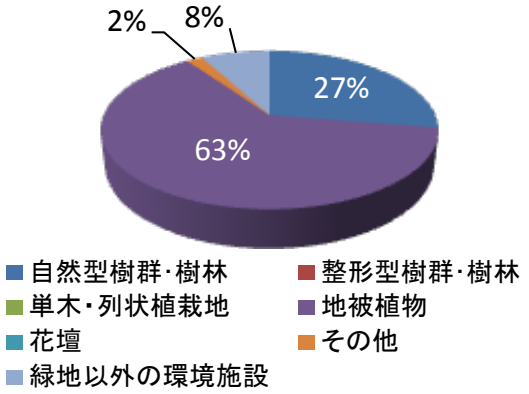
全国の工場緑化担当者の皆様、自社だけに留まらず、広く地域の緑化環境を推進させるためにも、ともに、努力して参りましょう。

株式会社堀場エステック　阿蘇工場

工場所在地	〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子 字講米畑 358-1　鳥子工業団地 電話 096(279)2921
主たる業種名	流体計測・制御機器、 その応用製品の開発・製造・販売
主要製品名	マスフローコントローラー
ホームページ	http://www.horiba-stec.jp/

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 10,946m²＞





工場緑化のキャッチフレーズ

こんな田舎にみどりの工場

緑化等の概要

・当工場は阿蘇郡西原村の工業団地内に位置している。エントランスと敷地外周部を重点的に緑化することで、阿蘇山麓の自然との調和を図っている。刈り込んだ芝生や外周部の自然型に配置した樹木が、美しく一体感ある景観をつくっている。

・来訪者を迎え入れるエントランス付近の緑地スペースには特に力をいれており、季節に応じた観葉植物を飾るほか、定期的に緑地の除草・剪定作業を業者に依頼して行っており、美しい景観維持に努めている。

・立地する区域は地域準則により最低緑地面積率で 3%、環境施設面積率で 5%と定められているが、当工場の緑地面積率は 30%以上と、工場緑化に対して意識を高く持ち、周辺工場の模範となっている。

・工場敷地内および敷地周辺の緑化や環境活動等については、定期的に従業員が作業する時間を設け、会社一丸となって取り組むことで、従業員全体の環境に対する意識の醸成が図られている（写真：力を入れている取り組み）。

・休憩、飲食スペースにも緑地を設けており、従業員の気分転換が図られていることで健康促進、生産性の向上などに寄与している（写真：力を入れている取り組み）。

・工場緑化を ISO14001 に位置づけて、計画的に環境保全活動に取り組んでいる。

＜緑地のようす＞







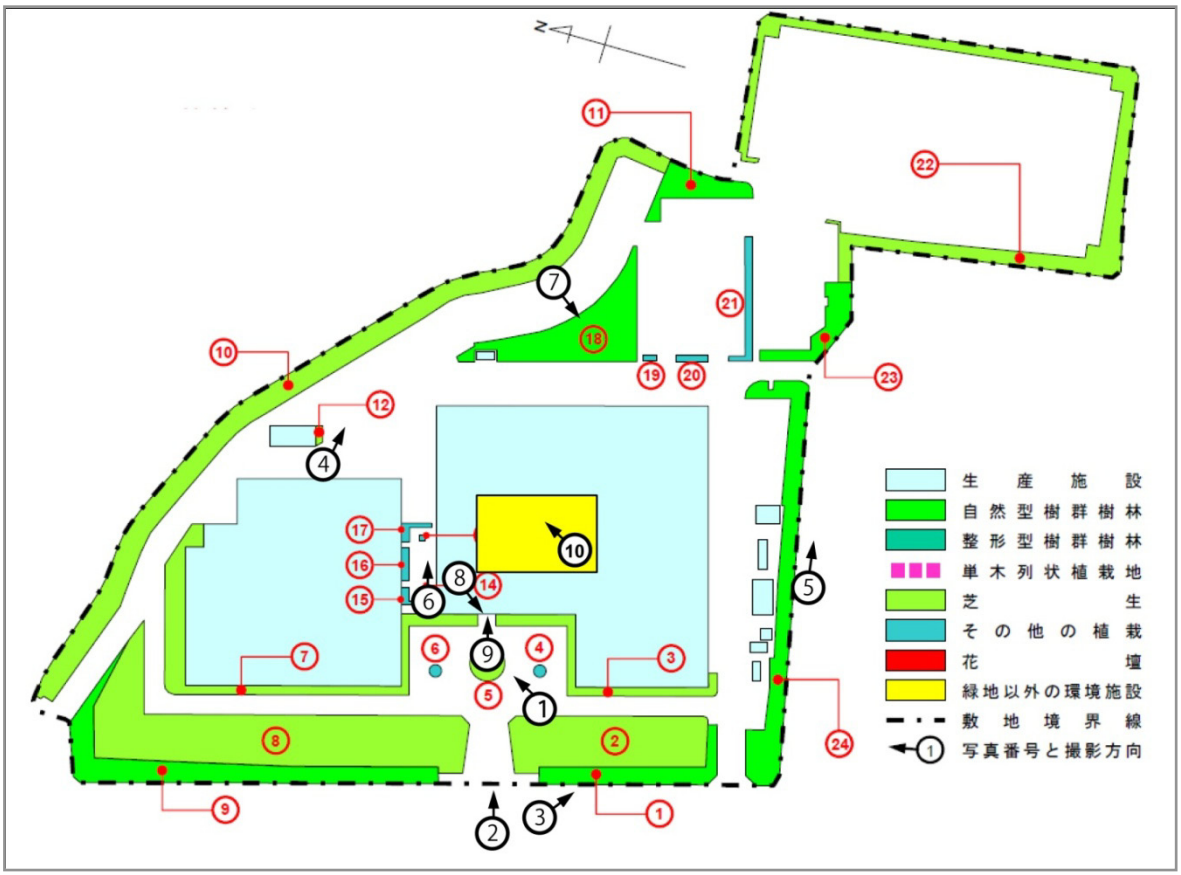


＜力を入れている取り組み＞



休憩スペース

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

緑化活動は地味ですが、コツコツ手入れすることで工場全体に快適な空気が広がると思います。

また工場の顔でもあり、お客様はみどりの管理状態を見て話題が受注へ繋がるチャンスも考えられます。

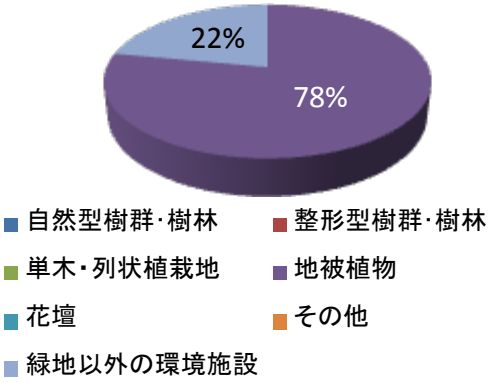
今後も、緑化に対する気配りを更に追及してみませんか。

宮崎アスモ株式会社

工場所在地	〒880-1113 宮崎県東諸県郡国富町大字木脇 4188 電話 0985(75)1236
主たる業種名	輸送用機械器具製造業
主要製品名	自動車用小型モータ
ホームページ	http://www.m-asmo.co.jp/

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 88,427㎡＞





工場緑化のキャッチフレーズ

南国宮崎の眩しい太陽と　美しい緑の共存

緑化等の概要

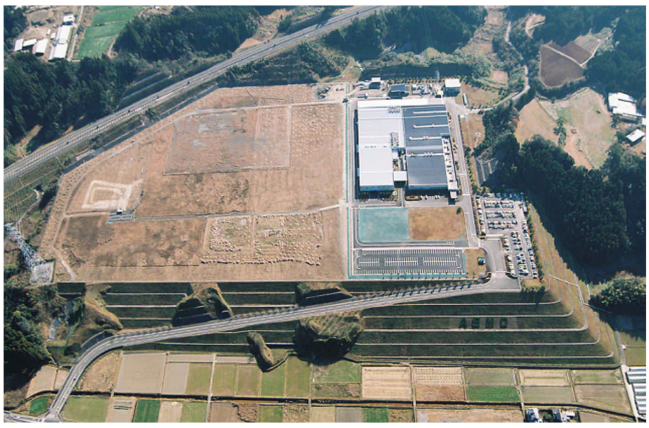
・当工場は高台に位置し、周辺には住宅地や農地及び山林が広がるため、工場法面は自然草地の状態を保ち、周囲に圧迫感を与えることなく、田園風景に溶け込むように配慮している。

・正門の横に操業年数分のワシントニアパームを植栽している。この並木は公道からも確認でき、「南国宮崎」を象徴する宮崎らしい風景となっている（写真：力を入れている取り組み）。

・広大な緑地の管理には、シルバー人材センター等を活用し、高齢者の就労機会の場となっているほか、子どもたちを中心とする工場見学受け入れや、工場敷地外での環境美化活動など、地域の社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

・平成 13 年には ISO14001 の認証を取得し、エネルギー消費量削減への取り組みを行うほか、
平成 17 年　ゼロ・エミッション達成
平成 22 年　CO_2削減の取組みが評価され、エコシップモーダルシフト事業優良事業者を受賞
平成 25 年　太陽光発電開始
など、環境に配慮した取り組みも行っている。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞

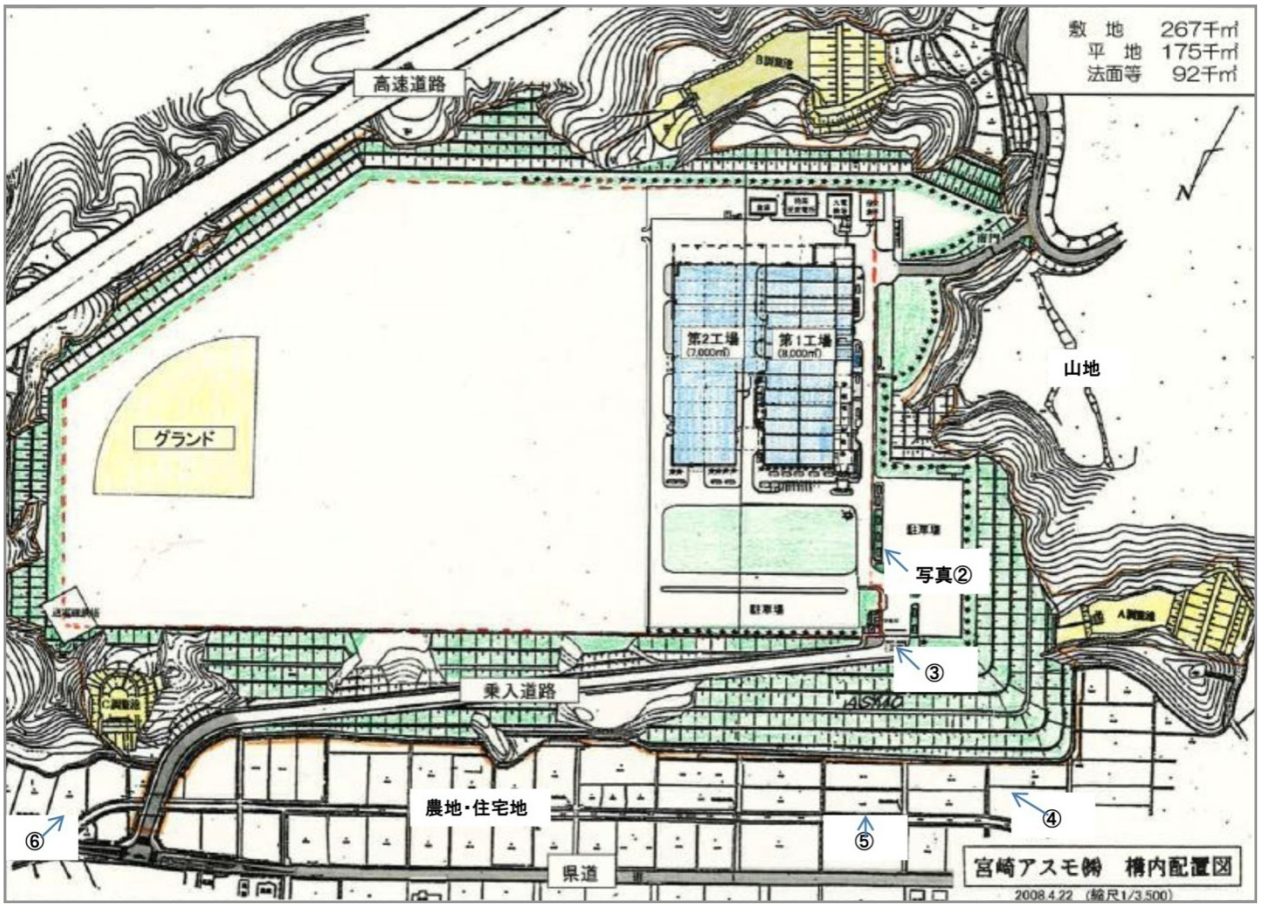


ワシントニアパームの植栽



地域美化活動

敷地平面図



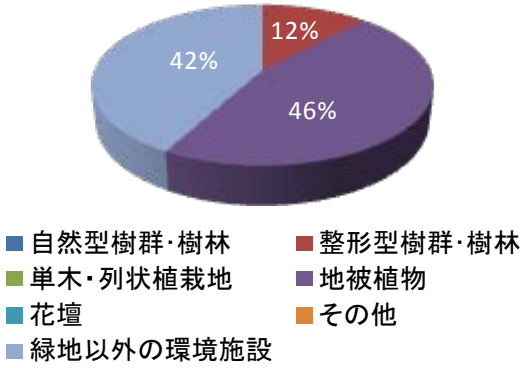
全国の工場緑化担当者の皆様へ

弊社は、緑豊な場所に位置し、自然の樹木等をそのまま活かしながら、緑化活動を進めております。今後も地域とのコミュニケーションを深め、更に全従業員の緑化への想いを込め、活動を進めていく所存です。皆様と情報を共有し共に緑化推進に努めていきましょう。

ゼリア新薬工業株式会社　筑波工場

工場所在地　〒300-1281
茨城県牛久市桂町 2200-5
電話 029(875)0880
主たる業種名　化学工業
主要製品名　医薬品製造　ヘパリーゼ、ウィズワン
ホームページ　http://www.zeria.co.jp

緑地等の種別面積割合
＜緑地等の総面積 28,418㎡＞





緑化等の概要

・当工場は、工業専用地域である筑波南桂工業団地内に所在する特定工場である。敷地面積 64,603 ㎡は、当該工業団地内に所在する工場の中で最も広い面積を占めている。周辺立地環境に配慮するため、敷地面積のうち 28,418 ㎡、44%を占める面積を環境施設として整備を行うなど、総合的な緑化計画に基づいた工場緑化を推進している。

・当工場は医薬品を製造する GMP 工場であり、虫の侵入に神経を使う必要があることから、壁面緑化や屋上緑化などは行えず、樹種の選定などにも厳しい制約条件があるが、工場緑化へのたゆまぬ努力・工夫を続け、工場の外周に沿って緑地を設け、ランダムに高木を配置して自然型の緑地帯を形成するなど、より一層の緑化努力が行われている。

・生産工程から排出される産業廃棄物の一部は肥料化して緑地に利用するなど、リサイクルへの取り組みや、従業員による周辺道路の清掃作業を行っており、2000 年には ISO14001 を取得し環境負荷の軽減を図っている。

・長年にわたり、工場敷地内の野球場を地域のリトルリーグに提供している。工場内野球場は地域のシンボル的存在となっており、工場の環境施設の地域開放は周辺住民からも高く評価されている。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞



リトルリーグ練習



再利用廃棄物コンテナ

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

ご担当者の皆様は、立木の剪定や雑草の除去等の緑化維持活動にご苦労されていることと思います。

緑化の維持活動を怠ると折角の景観も台無しになってしまいますので季節に合わせたメンテナンスが必要になってきます。

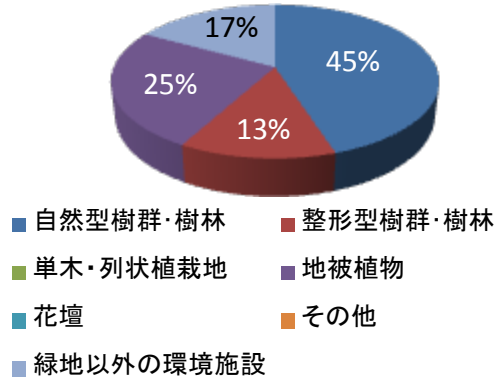
緑化の維持を単に業務ととらえると苦労も大きく感じるものですが、手をかけた木々を眺め、周囲の景観との調和を楽しむ気持ちをもって取り組むと苦労も楽しさに代わっていくのではないでしょうか。

これからも四季の変化を楽しみながら緑化活動を通じて地域環境の維持に貢献していきましょう。

パナホーム株式会社　筑波工場

工場所在地　〒300-2401
茨城県つくばみらい市台 1000
電話 0297(52)5155
主たる業種名　その他の製造業
主要製品名　鉄骨系プレハブ住宅部材
ホームページ　http://www.panahome.jp/

緑地等の種別面積割合
＜緑地等の総面積 28,740㎡＞





工場緑化のキャッチフレーズ

緑の森を未来へ"つなぐ"

緑化等の概要

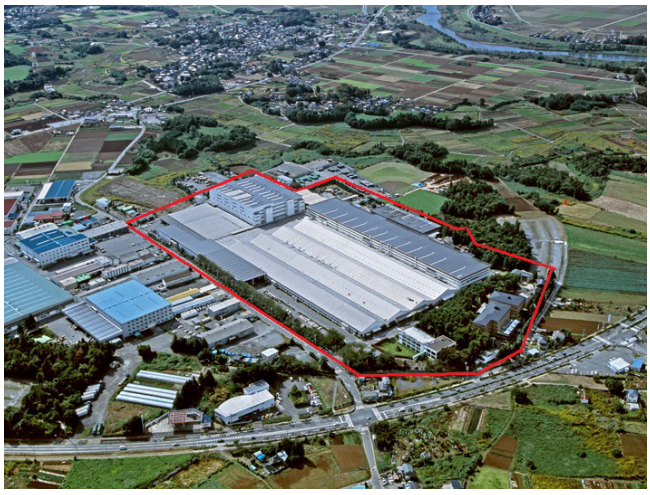
・当事業所は、2001 年に ISO14001 の認証を取得し、2005 年にエネルギー管理優良工場「資源エネルギー庁長官表彰」を受賞するなど、地球温暖化防止の取り組みの強化にあわせて、計画的に工場緑化を推進している。

・企業活動のスローガンとして 『スマートなくらしの価値を生み出す Only One の住生活企業』 を掲げ、環境経営を全社的に取り組む中、 2011 年度に生物多様性保全の推進として、「共存の森」を工場敷地内に開設。面積 1,288 ㎡の既存緑化施設にシラカシ・アラカシ・コナラ・クヌギなど 722 本を植栽した。つくば地区に生息する鳥や虫などの生物と人が共生できる環境を創出し、従業員や事業所への訪問者の憩いの場として開放している（写真：力を入れている取り組み）。

・従業員の環境教育にも積極的に取り組んでおり、公的資格取得（エコ検定）促進のほか、社内技能競技大会を定期開催する中で環境に関する種目（エコマインド競技・省エネ診断競技）も取り込み、環境知識・診断技術などのスキルアップもあわせて実践している。

・工場緑化に際しては、生物多様性保全の一環として環境重点取り組み課題に位置づけ全体活動を展開している。特に緑化の維持にあたっては、従業員全員が定期的に一斉作業を行うとともに、自治体と協力して工場近隣地区の清掃活動をイキイキ運動と称し、定期的に開催し従業員全体の環境に対する意識高揚を図りながら、地域の環境保全に貢献出来るよう努力している（写真：力を入れている取り組み）。

＜緑地のようす＞



工場全体風景



『共存の森』外観



『共存の森』内部



幹線道路からの外観

＜力を入れている取り組み＞

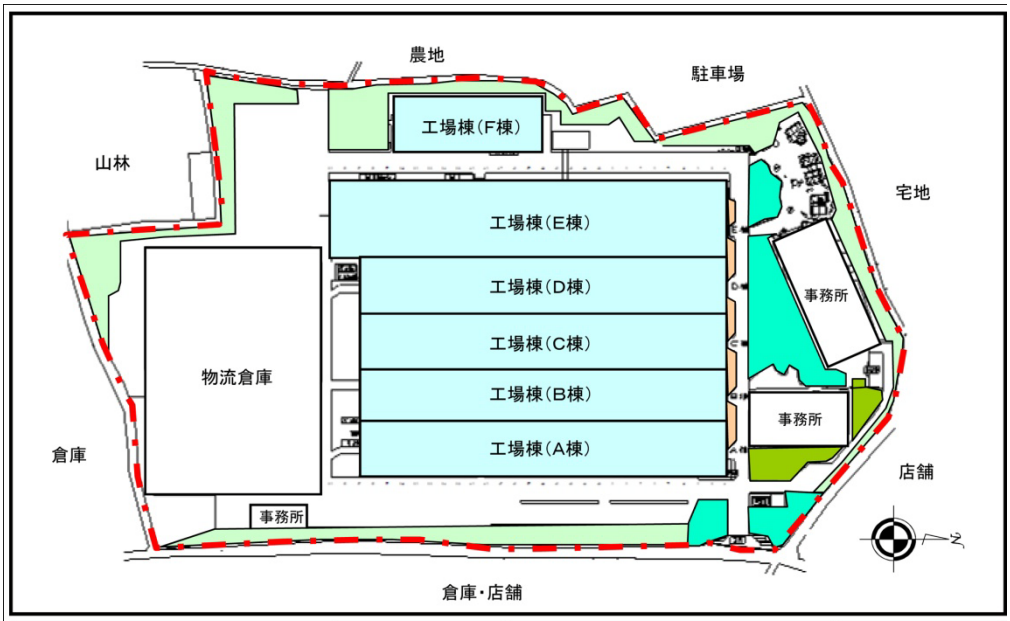


「共存の森」づくり



一斉緑化作業の実施

敷地平面図



名　称	色	名　称	色
生産施設		芝　生	
自然型樹群樹林		花　壇	
整形型樹群樹林(共存の森)		敷地境界線	

全国の工場緑化担当者の皆様へ

季節ごとに変化する樹木が工場全体の景観を変えていく中で、従業員・訪問者の方々の憩いの場として集っている様子を遠目で見ていると、担当者として更なる力が沸いてきます。

工場緑化の課題のひとつは維持管理ですが、当工場では従業員全員が積極的に活動しており、樹木の剪定に至るまで自分たちで行っています。従業員ひとりひとりが担当者と同じ想いで活動していることが窺えます。

工場緑化の活動は、環境面だけでなく様々な効果が期待できると感じています。

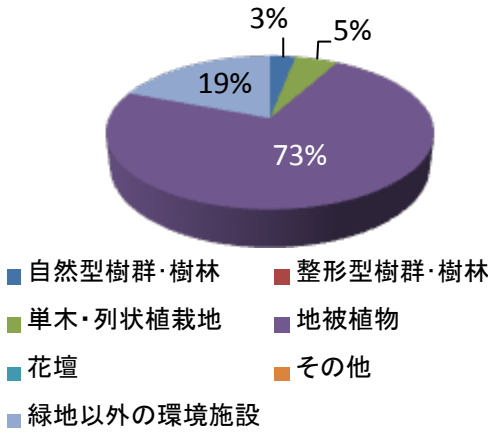
従業員全体の活動として、工場緑化推進を加速していきましょう！

株式会社クボタ　筑波工場

工場所在地	〒300-2402 茨城県つくばみらい市坂野新田 10 電話 0297(52)5112
主たる業種名	生産用機械器具製造業
主要製品名	農業機械製造　トラクタ、産業用エンジン
ホームページ	http://www.kubota.co.jp/

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 78,969㎡＞





緑化等の概要

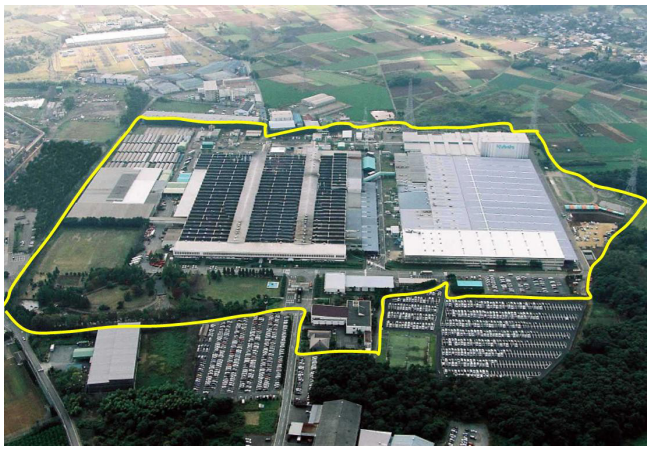
・本工場は、市内でも最大級の敷地面積約 32ha を有しており、クボタグループが掲げる「for Earth, for Life」の実現に向け、環境に配慮した事業活動を通じて地球環境保全に取り組んでいる。これまで、工場および周辺立地環境を配慮した総合的な緑地計画に基づき、緑地等の整備を進めてきており、工場敷地内に約 8ha もの緑地及び緑地以外の環境施設を整備し、地域の緑化推進に大きな役割を果たしている。

・敷地内の緑地は、職場のスポーツ大会やレクリエーションにも利用できるように、緑地全体によく管理された芝生が張られ、その外周には多くの高木、低木等がバランスよく配置されている。また、樹林内には遊歩道を設置するなど、緑陰につつまれた中で散策できるようになっている。これら工場内の樹木は、工場建設時にクボタグループの全国の営業所から地域色のある木を集めて植栽しており、47 都道府県の特色のある樹木が見られることも、クボタ筑波工場の特徴となっている。さらに、夏にはゴーヤによる緑のカーテンを設置するなど壁面緑化にも取り組み、工場緑化の一層の推進を図っている。

・工場増築にあたっては、建設予定地にあったサクラの木を伐採せずに従業員の通勤歩道沿いに移植をした。そのサクラが毎春に花を咲かせ、従業員の心を癒し、工場のシンボル的な樹木となている（写真：力を入れている取り組み）。

・筑波工場ではクボタグループ内で最初に IS0140001 の認証を取得して、環境負荷低減と地球温暖化防止を考えた企業活動を実施している。また、2008 年より「クボタ e プロジェクト」をスタートし、地域の環境美化・清掃活動を実施している。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞

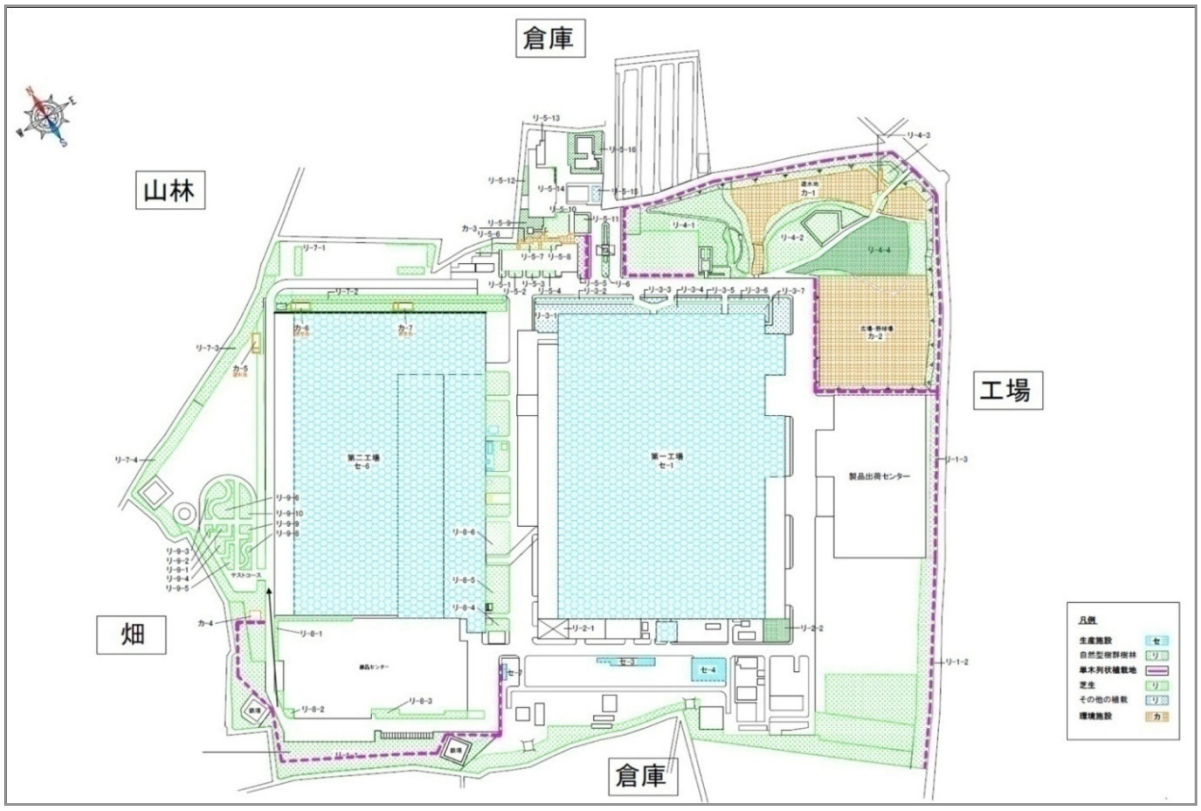


移植したサクラ



緑地は従業員の交流の場

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

緑を維持管理していくことは、どの企業においてもご苦労が有るかと思います。

しかし、「美しい緑地」は従業員にとって忙しい仕事の合間に、〝癒し〟と〝安らぎ〟を感じさせる事のできる重要な空間となります。

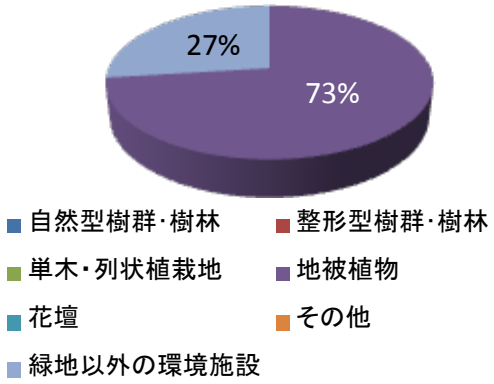
従業員の心身向上は勿論、コミュニケーションやレクリエーションの場として「美しい緑地」を維持向上できるよう共に頑張りましょう。

岐阜精工株式会社

工場所在地	〒501-0123 岐阜県安八郡安八町南條 1290-1 電話 0584(63)1611
主たる業種名	電気機械器具製造業
主要製品名	設備機械
ホームページ	http://www.gifuseiko.jp/

緑地等の種別面積割合

＜緑地等の総面積 3,013㎡＞





緑化等の概要

・当工場はメタセコイアをコーポレートツリーと定め、社歴を重ねた記念植樹も兼ねて定期的に植樹するなど、緑化活動を積極的に推進している（写真：力を入れている取り組み）。

・植樹のほか、来訪者観賞用に玄関・玄関ポーチにプランターを設置し花を植え、美しい景観作りに努めている。

・屋上緑化・壁面緑化、駐車場緑化等を実施している。また、さらなる美しい緑化へ向け、専門家からの助言を受けている。

・緑地管理において、減農薬、無農薬管理を実施し、環境負荷の軽減に取り組んでいる。

・定期的に工場周辺の清掃活動を行い、地域の一員として積極的に環境保全活動を進めている。

・平成 22 年 10 月、資源の有効活用と地球環境への負荷軽減を図るべく、工場棟に大規模太陽光発電システムを導入した。その結果、年間約 30%の節電を実現するなど、クリーンエネルギー利用の取り組みを行っている（写真：力を入れている取り組み）。

＜緑地のようす＞







＜力を入れている取り組み＞

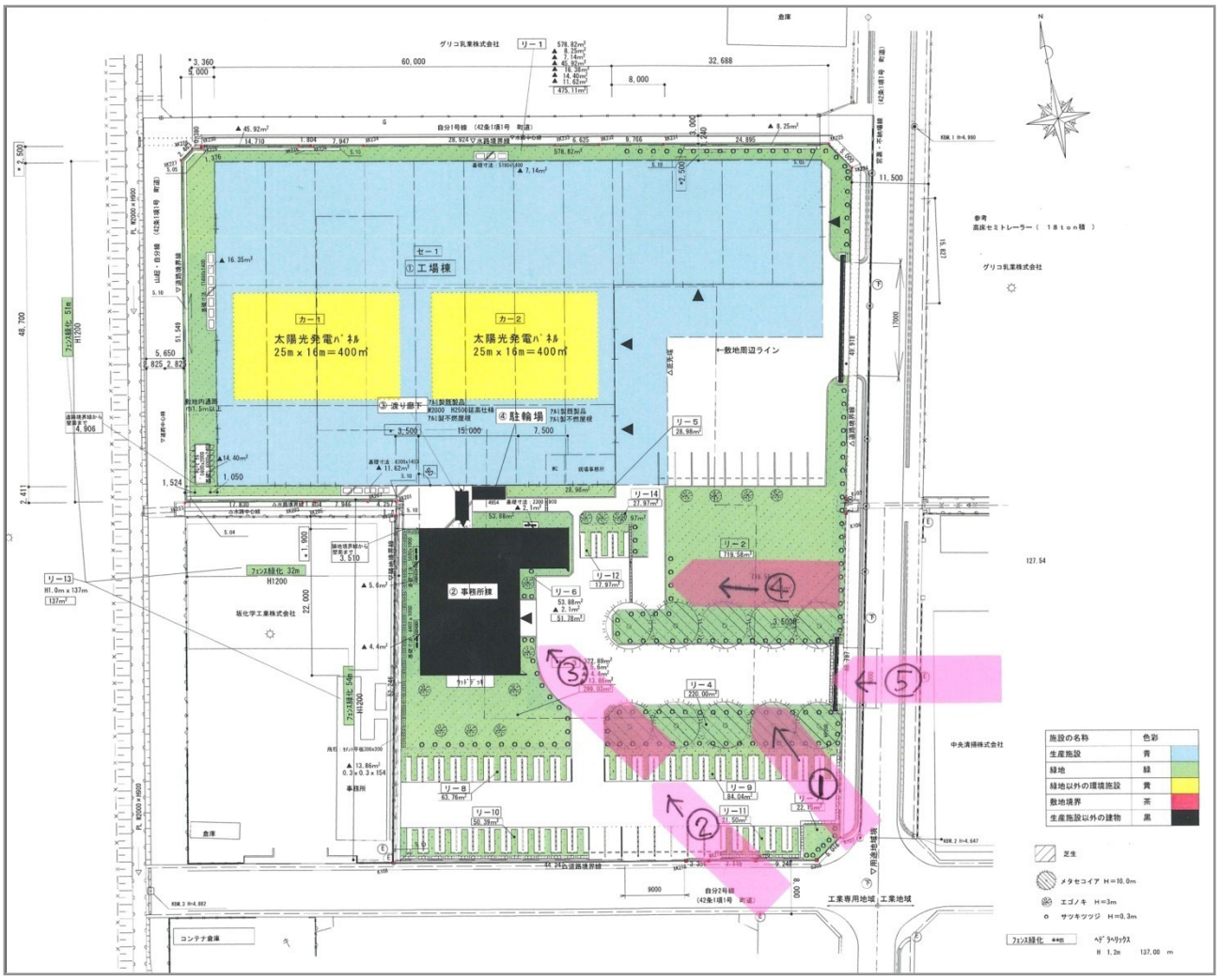


メタセコイア並木



太陽光発電システムの導入

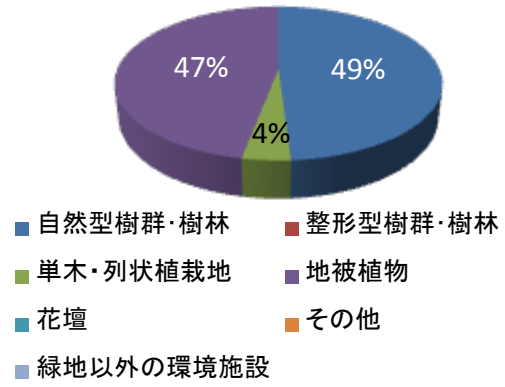
敷地平面図


グリコ乳業株式会社
リー1
578.82㎡
60.000
32.688
8.000
475.11㎡
セー1
①工場棟
カー1
太陽光発電ﾊﾟﾈﾙ
25m×16m＝400㎡
カー2
太陽光発電ﾊﾟﾈﾙ
25m×16m＝400㎡
敷地周辺ライン
③渡り廊下
④駐輪場
15.000
7.500
3.500
リー5
28.98㎡
リー14
17.97㎡
リー2
219.59㎡
リー12
17.97㎡
リー6
53.88㎡
51.38㎡
②事務所棟
リー4
220.00㎡
リー13
H1.0m×137m
137㎡
坂化学工業株式会社
フェンス緑化 32m
H1200
フェンス緑化 54m
H1200
リー8
83.76㎡
リー9
84.04㎡
リー10
50.39㎡
リー11
21.90㎡
22.19㎡
倉庫
コンテナ倉庫
中央清掃株式会社
グリコ乳業株式会社
工業専用地域 工業地域
自分2号線
(42条1項1号 町道)
施設の名称
色彩
生産施設
青
緑地
緑
緑地以外の環境施設
黄
敷地境界
茶
生産施設以外の建物
黒
芝生
メタセコイア H＝10.0m
エゴノキ H＝3m
サツキツツジ H＝0.3m
フェンス緑化
ﾍﾃﾞﾗﾍﾘｯｸｽ
H 1.2m
137.00 m

ベバストジャパン株式会社

工場所在地　〒739-0038
広島県東広島市田口研究団地 5-10
電話 082(425)1111（代表）
主たる業種名　輸送用機械器具製造業
主要製品名　自動車用サンルーフ
ホームページ　http://www.webasto.co.jp/home/jp/html/homepage.html

緑地等の種別面積割合
＜緑地等の総面積 21,970㎡＞





緑化等の概要

・高品質製品、適正在庫、能率生産、効果的物流は、美しい環境の中でこそ育まれるという信念から、周囲の恵まれた自然環境を活かし、地域に根付いた企業を目指して緑地の設計を行っている。

・当工場が立地する田口研究団地は、都市計画上の用途区域が工業地域に指定されており、地域準則で定める緑地面積率は 10%となっているが、当工場は敷地面積 46,000 ㎡の約半分を緑地として整備しており、手入れの行き届いた緑地は他の工場の模範となっている。

・1990 年の工場設立以降、事業拡大により数度の増設を行っているが、緑地の面積率を減らすことのないよう工夫して工事を実施し、今なお高い緑地率を保っている。

・2003 年に建設した新社屋は、緑地とのバランスを考慮して設計を行い、調和のとれた美しい工場外観を形成した。

・敷地と道路との境界にはフェンスの代わりに「市の花」であるツツジが植えられ、例年 4 月下旬から 5 月中旬にかけては、鮮やかに咲き誇った様子を伺うことができる。

・社屋を囲む木々は、会社の節目毎に植えられたもので、それぞれの木に、社の歴史と決意が込められており、今ではすべての木々が見事に成長している。

＜緑地のようす＞









＜力を入れている取り組み＞

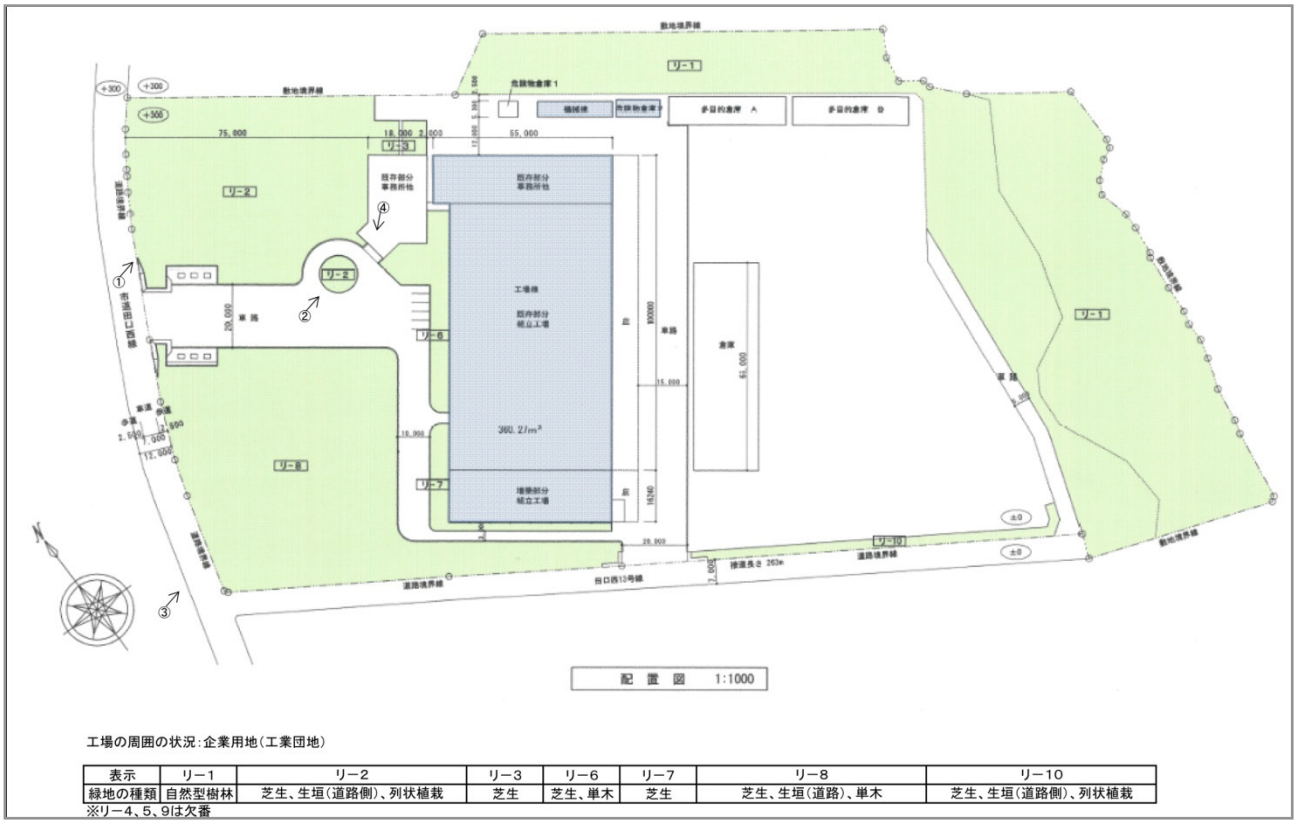


イベントの開催



緑地が見渡せる社屋エントランス

敷地平面図



工場の周囲の状況：企業用地（工業団地）

表示	リー1	リー2	リー3	リー6	リー7	リー8	リー10
緑地の種類	自然型樹林	芝生、生垣（道路側）、列状植栽	芝生	芝生、単木	芝生	芝生、生垣（道路）、単木	芝生、生垣（道路側）、列状植栽

※リー4、5、9は欠番

平成25年度（第32回）受賞工場



工場の部（12件）

宮城県　株式会社東北三之橋　丸森工場
宮城県　トヨタ自動車東日本株式会社　本社・宮城大衡工場
福島県　日本工営株式会社　電力事業本部福島事業所
群馬県　株式会社チノー　藤岡事業所
埼玉県　赤城乳業株式会社　本庄千本さくら『５S』工場
新潟県　八海醸造株式会社
静岡県　トリンプ･インターナショナル・ジャパン株式会社　トリンプ静岡センター
岐阜県　岐阜協和株式会社
愛知県　豊田合成株式会社　尾西工場
京都府　株式会社紫野和久傳　京丹後久美浜工房
熊本県　株式会社堀場エステック　阿蘇工場
宮崎県　宮崎アスモ株式会社

個人又は団体の部

該当者なし



会長奨励賞の部（5件）

茨城県　ゼリア新薬工業株式会社　筑波工場
茨城県　パナホーム株式会社　筑波工場
茨城県　株式会社クボタ　筑波工場
岐阜県　岐阜精工株式会社
広島県　ベバストジャパン株式会社

経済産業大臣賞受賞工場につきましては、経済産業省ホームページをご覧ください
こちら ▸ http://www.meti.go.jp/press/2013/11/20131101002/20131101002.html

工場緑化推進

「第32回工場緑化推進全国大会」を下記の要領で開催いたしました。

日　時	平成25年11月5日（火）　14時～17時　※終了しました
場　所	石垣記念ホール 東京都港区赤坂1丁目9番13号　三会堂ビル9階（地図） 電話（03）3582－7451（代）
主催	一般財団法人 日本緑化センター
後援	経済産業省、農林水産省、国土交通省、厚生労働省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、公益社団法人経済同友会、公益社団法人国土緑化推進機構、一般社団法人日本公園緑地協会、公益財団法人都市緑化機構、日本経済新聞社

プログラム

開会			14:00
I	主催者あいさつ	（一財）日本緑化センター　会長	
II	祝辞	経済産業大臣	
III	緑化優良工場等表彰		
	（1）選考経過の発表	・緑化優良工場等選考委員会委員長 ・経済産業省経済産業政策局立地環境整備課長補佐	14:10～14:45
	（2）経済産業大臣表彰		
	（3）（一財）日本緑化センター会長表彰		
IV	緑化優良工場の体験発表		15:00～15:55
	（1）経済産業大臣賞受賞工場		
	（2）（一財）日本緑化センター会長賞受賞工場		
V	記念講演　「経団連環境自主行動計画を通じた産業界の成果と今後の取組み」 （一社）日本経済団体連合会		16:00～16:50
VI	閉会のあいさつ	（一財）日本緑化センター	16:50～17:00
閉会			17:00